

2章 総合問題2

問題

【1】

解答

(1) e (2) b (3) f (4) a

解説

類義語での言い換えが段落のつなぎに多用されていて、これを見抜く力が試されている。第2段落には、今の形のポニー祭の地域の祭としての起源と、それが世界的に知られ始めたことが書かれている。空所の第1段落はこれにつながるものだから、ポニー祭に初めて言及したもののはず。選択肢の中でそのようなものを探すと、eでポニー祭が引用符付きで初めて言及されており、それが開かれる島が世界中から人の集まる有名なものであることがわかる。したがって空所1に入るのはeである。

第2段落の最後に言う、小さな両島を「世界地図に載せる」とは「世界的に有名にする」の意味である。ポニー祭は単にその第1ステップだったと言うのだから、他にもこれらの島を有名にする要因があったということ予測させる。bに「(シンコティーング島について書かれた) 児童書の出版と共に、真の名声を訪れた」とあるので、これを空所2に入れればよい。

第4段落の最後には、「ポニーの歴史が多くのお観光客を引きつけ続けている」とある。選択肢fの冒頭にあるthat appealがその内容を受けている。「その魅力の一部は彼ら(ポニー)の起源の謎だ」という内容は第4段落にうまくつながっている。fの最後に、「このポニーは生物学的に見ても興味深い」とあるが、第6段落に書かれた、シンコティーング・ポニーという小型種の馬はもともと普通の馬で、島以外の環境に置かれると、もとの馬の大きさまで育つという事実は、興味深い生態と言えらるだろう。よって空所3にはfが入る。

第6段落の最後には両島では天候が厳しく、食べる物も硬い草しかないとある。aの冒頭の「厳しい生活」がこれを受けると考えるのは自然だし、続く合衆国西部の別種の野生馬であるムスタングと、シンコティーング・ポニーの外見の違いも、第6段落に続く記述と一致する。よって空所4にはaが入る。

使われなかった選択肢

c かつてこの地に多く住んでいた先住アメリカ人の言葉や歴史に富む、両島のような場所の多くが、今では先住民が付けた名前しか残していないというのは、米国史の残酷な事実である。実のところ、シンコティーング島とアサティーング島は最初、ジンゴ・ティーングと呼ばれる先住アメリカ人の一派によって名付けられた。例えば、「シンコティーング」とは「水の上に広がる美しい土地」の意味だと言われている。先住アメリカ人がこの地域から完全に追い出されたり、「特別保留地」と呼ばれる、先住アメリカ人しか住めない土地に追いやられたずっと後になって、イギリスからの入植者が、これらの島にやって来始めたとき、これらの名前をそのまま使ったのだ。

※本文には、先住アメリカ人や地名の起源についての記述は他にどこにもない。

d ジョージ・ブリーデンはシンコティーグ島で地元のみやげ物店を経営している。「私はこれでほとんど80年近くここに住んでいるし、私の一族は私が生まれる何世紀も前に、この島にやってきた。各地の植民地からここに最初に送られてきた入植者は犯罪者だったと言う人もいるが、私の一族は違ってたと私は信じている。どこに証拠がある？」とブリーデンは語る。ブリーデンや他の島の住民はシンコティーグ島に入植した最初の家族のリストを公式にまとめた。これらの家族は、島での自分たちの長い歴史を誇りにしているが、批評家は、彼らが過去の本当の歴史について知ることよりも、今、観光で金儲けをすることの方に關心を持っていると主張する。

※本文には、シンコティーグ島の住民の祖先に関する記述はない。

全訳

e 毎年7月、世界中からやってきた人々が、「ポニー祭」と呼ばれる行事のために、アメリカの中部大西洋岸沖の島に集まる。これは、ロッキー山脈の東側にのみ残っている野生のポニーが、一日その自由を失うお祭りである。人々が歓声をあげる中、「ウォーター・カウボーイ」たちが率いるポニーは、シンコティーグ島とアサティーグ島という2つの小島を隔てる狭い海峡を、水しぶきを上げながら泳いで渡る。ほんの5分もすると、ポニーは上陸する。いったんシンコティーグ島に上がると、ポニーは健康診断を受け、何頭かは販売される。翌日、ポニーはもといいた自由なアサティーグ島に泳いで帰り、世界中に知られる町の祭りの終わりを告げる。

両島では、18世紀初頭以来、野生動物の生息数の定期的な管理の一貫として、ヒツジとポニーのお祭りが開催されていたが、現在の形のポニー祭は1924年に始まった。当時、シンコティーグ島の自警消防団が、消火設備の資金を集めるために、年に1度のお祭りの期間中にポニーを売り始めたのだ。毎年ポニーを売ることで、この消防団はその活動を支え、ポニーの数をその島の自然のバランスに適した多さに維持することができた。驚くことに、自警消防団のポニー祭は、2つの小さな島を世界に知らしめることに向けてのまさに第一歩だった。

b しかしながら、本当に有名になったのは、世界中で何ヵ国語にも翻訳された子供向けのベストセラー「シンコティーグ島のミスティ」が1947年に出版されたのがきっかけだった。この物語の中で、作者のマーガリート・ヘンリーは、ビービー一家が、ミスティと言う名前の、小さくて利口なシンコティーグ・ポニーを家族の一員として受け入れた経緯だけではなく、島民の慣習や、一見して都会の現代生活の猛烈な慌しさとは無縁な生活様式をも描いている。今日の旅行者がシンコティーグ島で言葉にならないほどの魅力を感じる、小さな島の生活の特質——静かで、古風で、全く便利ではない——とは、両島をこれほど長い間、多くの人に知られないままに保ってきたのとまさに同じ特質なのだ。

ポニー祭が世界的な観光客の呼び物になる以前は、アメリカにおいてさえ、これらの島の名前を知る人はほとんどいなかった。覚えておいてほしいのは、シンコティーグ島とアサティーグ島は、かつて人間よりも野生の鳥やポニーの方が多くいた小島だということだ。何世紀もの間、この島のポニーはほとんど人間と接触することなく生きていた。しかしながら、シンコティーグ島に徐々に人間が住むようになった結果、ポニーは今日でもなお人の住まな

いアサティグ島にしかいなくなった。ポニーは自警消防団や祭りや観光といったものが島に存在することになった時よりもずっと前から両島にいたのであり、彼らの歴史こそ、最も多くの人々を引き寄せ続けているのである。

f その魅力の1つは、ポニーの起源の謎である。何百年もの間、ポニーはシンコティグ島とアサティグ島に住んでいるが、どうやってそこに辿り着いたのかはわかっていない。ある伝説では、16世紀にスペイン船が大嵐の中で近海に沈んだときに、馬だけが泳いで避難し、生き残ったのだと言うことだ。またある伝説では、スペインの海賊が貴重な馬を、これらの孤島に隠したのだということになっている。しかしながら、多くの歴史家は、バージニアとメリーランドの植民地の初期の入植者が、馬をイギリスから持ち込んで、のちに家畜に課される税金を免れるために、辺鄙なこれらの島で飼ったのだと主張する。しかしながら、どの話を信じるにしても、この野生のポニーの起源に関する伝説は事実と虚構に満ちている。野生のポニーの起源に関する伝説と同じくらい興味を引くのが、その生態である。

「シンコティグ・ポニー」をうみ出したのは、厳しい自然環境と、何世紀にもわたる隔離だったのだが、元々は普通の馬だったのだ。実際、このポニーの中には、仔馬の時に島から連れ出され、普通の餌と雨風をしのぐ場所で飼われたら、58インチ以上の、普通の馬の大きさにまで成長するものがあることが知られている。しかしながら、天候と虫が過酷で、餌もほとんどが海岸に生える硬い草である両島では、この馬は、まさに文字通り環境によって小型化されてきたのだ。

a しかしながら、その厳しい生活にもかかわらず、このポニーは、アメリカ西部に極めて多く生息するムスタングとは違って、痩せてもいないし、醜いわけでもない。それどころか、ポニーは主として塩分の強い、海辺の草や湿地に生える植物や海草ばかりを食べているので、平均的な馬よりもはるかに多くの水を飲み、そのために彼らは「太って」健康そうに見える。いったん人間に飼われられると、おとなしい動物になることも知られている。それどころか、ポニーを子供たちにとっての大変好ましいペットにしてきたのは、まさに、その体の小ささと、頭のよさと、容姿のよさなのである。

世界中のあらゆるところから、何千もの観光客がこの祭りに参加するし、特に子供連れの家族にポニーを売ることは、いともたやすい。子供たちは、ミスティに似たポニーを見つけようとしてこの祭りにやって来るし、大人たちは簡素な島の生活や、シンコティグ島とアサティグ島の歴史を知ろうとしてやって来る。観光の国際化が地域の慣習を維持する最もよい方法だというのは現代の常識である。毎年夏にやってくる大勢の観光客に人気がなければ、この野生のポニーは生き延びられないだろう。ポニー祭は地元の経済にとって欠かせなくなっただけでも、ポニー祭が終わると、ポニーだけでなく、シンコティグ島の漁民や住民も、いつもの静かな生活に戻ってほっとするに違いない。一方で、観光客は、野生のポニーが自由の地へと泳いでいくのを見て、どういうわけかさわやかな気分になり、短い夏の休暇から、いつものせわしない現代生活へと戻るのだ。

注

選択肢 e

◇ off the mid-Atlantic coast of the United States 「合衆国の中部大西洋沖の」

○ off = only a short distance away from a place

- ◇ carnival = a public event at which people play music; wear special clothes, and dance in the streets *cf.* festival (ℓ. 1)
- ◇ remaining = being left when the others have gone, been used, or been dealt with
- ◇ pony = a small horse of some special breed
- ◇ splash = make water fly up in the air with a loud noise by hitting it or by moving around in it
- ◇ as : 「同時」を表す。
- ◇ cheer = shout as a way of praise
- ◇ channel = an area of water that connects two larger areas of water
- ◇ Chincoteague 「シンコテージ島」
- ◇ Assateague 「アサテージ島」
- ◇ mere = that is nothing more than what is specified
- ◇ Once (they arrived) on Chincoteague
- ◇ health inspection 「健康診断」
- inspection = a careful examination of something to find out more about it or to check for anything wrong
- ◇ mark = be a sign of

本文

- ℓ. 1 ◇ hold = have a meeting, party, election, etc. in a particular place or a particular time
 - ◇ early = in the first part of a period of time, event, or process
- ℓ. 2 ◇ as = in the role of
 - ◇ control = an action, method, or law that limits the amount of growth of something, especially something that is dangerous
- ℓ. 4 ◇ annual [ˈænjuəl] = happening once a year
 - ◇ festival = a special occasion when people celebrate something such as a religious event, and there is often a public holiday. *cf.* carnival
 - ◇ raise = collect money that you can use to do a particular job or help people
 - ◇ fire-fighting equipment 「消火設備」
 - fire-fighting = for the work of stopping fire burning
 - equipment [ɪˈkɪpmənt] = the tools, machines, clothes, etc. that you need to do a particular job or activity (*Equipment* is an uncountable noun and has no plural noun.)
- ℓ. 5 ◇ fire department = (米) an organization that works to prevent fires and stop them burning *cf.* (英) fire service
 - ◇ maintain = make a level or rate of activity, movement, etc. stay the same
- ℓ. 6 ◇ population = the whole number of inhabitants in a country or region
- ℓ. 7 ◇ step in the direction of = step toward
 - step = a measure or action taken to achieve something
 - ◇ put ~ on the world map 「~を世界中に知らしめる」

- 直訳すれば「～を世界地図に載せる」だが, put on the map (= make famous) というイディオムがあり, ここではその意味をかけている点に注意。

選択肢 **b**

- ◇ fame = the state of being famous
- ◇ adopt ~ 「～を家族の一員として受け入れる」
- legally take (another's child) and bring it up as *one's* own が文字通りの意味
- ◇ seemingly = appearing to have a particular quality, when this may or may not be true
- ◇ mad = done without thought or control
- ◇ appealing = attractive
- ◇ kept these islands unknown to so many
 V O C

本文

- ℓ. 9 ◇ attraction = something attractive
- ℓ. 10 ◇ know these islands by name = recognize them and address them by their name
 ◇ after all: used to say that something should be remembered or considered, because it helps to explain what *one* has just said
- ℓ. 12 ◇ mostly: used to talk about most members of a group, most occasions, most parts of something else; mainly
 ◇ free of human contact
 ○ 準補語。
 ○ free of = not affected by
- ℓ. 15 ◇ tourism = the commercial organization and operation of holidays and visits to places of interest
 ◇ the one = the only one
 ◇ draw = attract to a place or an event
 ◇ the most visitors 「最大の訪問客→もっとも多くの人々」
 ○ 「とても多くの人々」というのを, 最上級を用いて表している。これは最上級を用いて程度の甚だしさを表す修辭法の1つ。
 ○ これを「大半の」とするのは初学者の犯しやすい典型的な間違いのひとつ。その意味なら the most ではなく most of the である。

選択肢 **f**

- ◇ appeal = attractiveness or interest
- ◇ mystery = something that is difficult or impossible to understand or explain; secrecy
- ◇ One tale has it that ... : used when you are reporting what a tale says
 ○ tale = a description of interesting or exciting things that happened to someone or something, often one which is not completely true about every detail
 ※ 次の文で Another legend と言い換えている。
- ◇ nearby = not far away
- ◇ to : [結果] を表す。

- ◇ claim = state that something is true, even though it has not been proved
- ◇ pirate = someone who sails on the seas, attacking other boats and stealing from them
- ◇ early = in the first part of a period of time, event, or process
- ◇ settler = someone who goes to live in a country or area where not many people like them have lived before, and that is a long way from any towns or cities
- ◇ be rich with [in] ~ 「～について [～で] (情報・興味・考えなどが) 尽きない」
- rich = plentiful

cf. a movie that is *rich with [in]* ideas and imagination (アイデアと想像力にあふれる映画)

- ◇ fiction U = a false belief or statement

※ 不可算名詞である点に注意

- ◇ No less interesting (than the legends [the origins]) is their biology.

○ their biology が新情報であるので倒置が起きている。

○ biology = the life processes, especially of an organism or group

本文

ℓ. 17 ◇ isolation = the fact of being isolated < isolate = place apart or alone

ℓ. 18 ◇ Indeed ~, yet [and yet; but] ...

= It is true		
To be sure ~,		yet [and yet; but] ...
I admit		
(なるほど～であるが, しかし…)		

◇ if (the ponies are) taken off the islands ...

○ take ~ off = set ~ apart from

ℓ. 19 ◇ raise = bring up

◇ shelter = a place giving protection from bad weather or danger

ℓ. 20 ◇ to : [結果] の前置詞

ℓ. 21 ◇ tough = hard to cut or chew

ℓ. 22 ◇ literally = according to the most basic or original meaning

※ literally が修飾する *downsize* が今日では文字通りの意味よりも, それ以外の意味で用いられることの方が多いので, literally を使っているのである。

◇ *downsize* = ① *reduce the number of people a company or organization employs in order to reduce costs* ② *make smaller*

○ 今日では①の意味, つまり「リストラする」の意味で用いられるのが普通

cf. My brother has been *downsized*. (兄は人員削減にあった。)

選択肢 a

◇ despite = in spite of

※ despite は前置詞である点に注意

◇ mustang = a small wild horse of the south-western U.S.

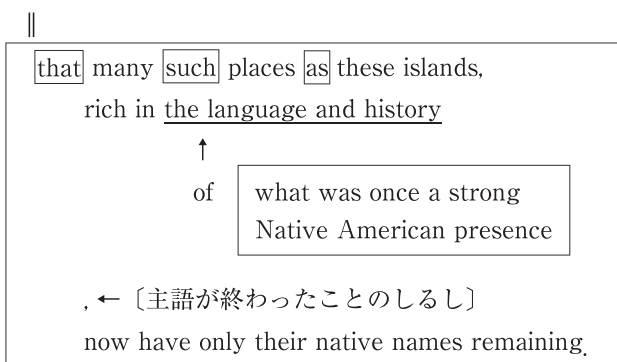
◇ on the contrary: ① the opposite is true, not at all ② *used to add to a negative statement, to disagree with a negative statement by someone else, or to answer no to a question*

- ◇ salty (grasses, wetland plants, and seaweed),
 - salty は後続する 3 つの名詞を修飾。
 - seaweed = large algae (藻類) growing in the sea or on rocks at the edge of the sea
 - ◇ Once (they are) under human control
 - ◇ indeed: [Sentence Adverb] used to introduce an additional statement that emphasizes or supports what you have just said
 - ◇ intelligence = the ability to gain and apply knowledge and skills
- 本文

- ℓ. 25 ◇ come to learn about = come to gain knowledge about
- ℓ. 27 ◇ preserve = keep in its original or existing state
- ℓ. 28 ◇ would : 仮定法過去。条件は without their popularity with huge crowds of tourists each summer.
- ℓ. 30 ◇ resident = a person, who lives somewhere on a long-term basis
- ◇ be relieved = stop feeling distressed or anxious

使われなかった選択肢 c

- ◇ It is a cruel fact of American history



- ◇ It = that ~
 - ◇ cruel = causing pain, suffering or grief
 - ◇ such A as B 「B のような A」
 - ◇ presence = the fact or condition of being presence < present = existing
 - ◇ have only their native names remaining
- V O C
- ◇ reservation = a tract of public land set aside (as for use by American Indians) 「(北米先住民保護) 特別保留地」

使われなかった選択肢 d

- ◇ run = be in charge of
- ◇ my people = my family
- ◇ folks = people
- ◇ be the case with = be true with = be so with
- ◇ official = authoritative; authorized

【2】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

人々は余暇を娯楽と、娯楽を閑暇と混同しがちである。彼らは、益々増加しつつある労働から解放される時間の利用において、慎重さを示すことはほとんどないのだ。働く人が余暇を利用するといっても、せいぜい余暇にお金を使うことしかできないということが多いためである。人は1週の労働時間から正当に捻出された時間を、自分の好きなように扱うあらゆる権利を有しているとはいえ、この時間が浪費されるのを見るのは落胆させられる。そしてそれは現に浪費されている。と言うのも、余暇から最も多くのもので得られるはずの者でさえ、だまされて空虚な娯楽を人生の必需品の1つと見なすようになってしまっているからだ。

注

- ℓ. 1 ◇ be liable to *do* = be apt to *do*; be prone to *do*
 ◇ confuse A with B = mistake A for B
 ◇ leisure [lí:ʒər, léʒə] U = freedom from work, especially from compulsory work or duties; time when *one* may rest, amuse *oneself*, do the things *one* likes doing
 ※日本語の「レジャー」にあたるのは amusement; recreation
 ◇ idleness = the state of being idle < idle = not working; not busy
- ℓ. 2 ◇ discretion = carefulness in speech and action; prudence; good judgement
cf. show[use] *discretion* in choosing *one's* friends (友人を選ぶにあたって慎重にする)
 < discreet [diskrít] = careful and sensible
 ◇ the best use (that) the working man can make of his spare time
 ○この the best use 以下の訳出法は、All you have to do is study hard. (一生懸命に勉強しさえすればよい)と同様に考える。
- ℓ. 3 ◇ the working man 「仕事をもっている人」(総称)
 ◇ spare time = leisure time; the time left after *one's* duties are performed
- ℓ. 4 ◇ every = all possible; complete
 ◇ to do (as he pleases) with time …
 ○ do with = deal with; treat
 ○ please = like; want
 ◇ justifiably = with good reason
 ○ carved out を修飾
 ◇ carve A out of B = produce A from B
 ◇ working week = a part of the week during which work is done; the working days of the week
cf. a 5-day *working week* (週休2日制)
- ℓ. 5 ◇ dishearten = discourage
 ◇ could : 仮定法
- ℓ. 6 ◇ deceive someone into …*ing* = trick someone into …*ing* (by lying)

- ◇ regard A as B = look upon A as B
- ◇ empty = having no meaning
- ◇ amusement = the state of being amused < amuse = make cheerful and happy
- ℓ. 7 ◇ necessity **C** = something that cannot be done without

【3】

解答

- (1) age (2) **b** (3) **d** (4) ① senior ② by
 (5) 席を取っておいてくれた (6) **d** (7) **d** (8) **d**

解説

- (1) ○ at the same time が対立する内容になっている。
 ○ other children of his own (age) ⇔ students much older
- (2) ○ Mike's reputation had preceded him into the room.
 ○ 「マイクの評判がマイクよりもすでに教室に入ってしまった」《直訳》
 ○ reputation = the beliefs or opinions that *one* generally held about someone or something
 ○ had preceded : 過去完了形。
 ○ 基準点は「マイクが教室に入ってきたその時点」
 ○ precede = happen before
cf. proceed = begin a course of action; move forward
- (3) ○ single out = select; choose ~ from a group for special attention
- (4) ○ A is ~ years senior to B. ... 1
 = A is senior to B by ~ years. ... 2
 = B is ~ years junior to A. ... 3
 = B is junior to A by ~ years. ... 4
 = A is ~ years older than B (is) 5
 = A is older than B (is) by ~ years. ... 6
 = B is ~ years younger than A (is) ... 7
 = B is younger than A (is) by ~ years. ... 8
 ○ 1 ~ 4 は文語。作文使用不可。
 ○ 5 ~ 8 は普通の言い方。
 ○ by は「差」を表す前置詞。
- (5) ○ save = keep or store for future use
- (6) ○ things were hard to reach
 ≡ it was hard for him to reach things
 ○ reach = stretch out an arm in a specified direction in order to touch or grasp something
 ○ ℓ. 14 the youngest and *smallest* から **d** が正解。
- (7) ○ take ~ seriously = worry

○ take ~ serious (×)

※「そんなことは気にするな。」

Don't	be so serious.
	take it so seriously.
	let it get to you.

- (8) ℓ. 20~21 He was always surprised when things broke or burned because to himself he didn't picture things happening that way. (マイクは物が壊れたり燃えたりするといつも驚いていたが、それは、そんなことが起きることをイメージしていなかったからだ。) から **d** が正解。

全訳

6歳の時マイクは、特別な実験校である、コメットに行かされた。子供たちはその国のいたる所からコメットにやってきた。というのも、そこでは一人一人が、自分の能力に応じて——それも教科ごとの能力に応じて——進級することが許されたからである。

そこではマイクは同年齢の子供たちと一緒に、英語と社会科を受講することができ、またその一方で、ずっと年上の者たちと科学を受講した。その数年間で、彼は際立って物理と生物に優れていることがわかった。

マイクがはじめてジェームズと実験で組んだのは生物であった。マイクが来る前から、すでに評判はクラスに伝わっていた。教室に入ると、「おい、マイク、こっちに来て座れよ。」と呼びかけられた。その声の主がジェームズ・ハントという、コメットで最も有名な生徒の1人だった。有名というだけでなく、ずっと年上の者に——というのも、その時はマイクは9歳だったが、ジェームズは15歳だったのである——抜擢されて、マイクは得意になっていた。そして翌年2人が2つの理科の講座——物理と化学——を取った時も、1年間2人はタッグを組むことになった。その時もジェームズはマイクに◎席を取っておいてくれたからである。マイクは気をよくしたが、困惑はしなかった。

理科の授業ではマイクはいつも最年少で、一番小さかった、最初の頃は、手を伸ばしてもなかなか物が取れなかった、生まれつき不器用な傾向があったといった理由で、クラスの皆はマイクを「スプラッシュ (ビチャビチャ君)」と呼んだ。でもマイクは自分の不器用さを深刻に考えることはなかった。マイクは、常に自分は科学者であるというイメージを描いて行動していたのだ。液体を別の容器へ注ぐ時、机の上にぼたぼたとこぼしているのに、一滴たりともこぼさずに他の容器に注いでいることをイメージしていて、「ライフ・マガジン、著名な青年科学者を訪問」というタイトルが頭に貼り付いていた。マイクは物が壊れたり燃えたりするといつも驚いていたが、それは、そんなことが起きることをイメージしていなかったからだ。マイクは、「スプラッシュ」とは面白い呼び名だが、自分には合っていないと思っていた。

注

ℓ. 1 ◇ experimental = based on new untested ideas and not yet finalized

ℓ. 2 ◇ advance = raise in rank

ℓ. 3 ◇ rate = a measure, quality, or frequency, typically one measured against another quality or measure

- ℓ. 4 ◇ There = At Comet
 ◇ social studies 「社会科」
- ℓ. 5 ◇ at the same time = at the same time; nevertheless
 ※ ここは, but at the same time の but が抜けて接続詞的に用いられている。
 ◇ course = a series of lectures or lessons in a particular subject
 ◇ much older (than he was)
 ◇ During the years that followed
 ○ that は関係代名詞。
- ℓ. 6 ◇ prove (to be) = turn out (to be)
 ◇ exceptionally < exceptional = outstanding
- ℓ. 7 ◇ It was ~ that … 《強調構文》
 ◇ lab = laboratory
 ○ laboratory [ləˈbɒrətɔːri] = a room or building for scientific experiments or teaching
- ℓ. 8 ◇ call (somebody) out = ask (somebody) out, especially to an emergency
 ◇ come (and) sit here
- ℓ. 9 ◇ be flattered = feel honored and pleased
- ℓ. 11 ◇ the following year = the next year
 ○ following = next in time
- ℓ. 13 ◇ A but not B = A and not B; A, not B; not B but A
 ◇ overwhelm = embarrass; cause to feel confused
- ℓ. 15 ◇ at first = at the beginning; at the outset
 ◇ natural = belonging to *one's* own nature
- ℓ. 16 ◇ awkwardness [ˈɔːkwədənəs] < awkward = clumsy; not moving in an easy way
- ℓ. 17 ◇ He carried around a mental picture of himself being a scientist.
 ○ carry around 「いつも思い浮かべる」 (← 「いつも持ち歩く」)
 ○ mental = happening in the mind
- ℓ. 18 ◇ pour [pɔːr] = flow in a steady stream
 ◇ spill = cause (liquid, powder, etc) to fall or run out of a container, especially accidentally
 ◇ top = a thing placed on, fitted to, or covering the upper part of something (表面)
- ℓ. 22 ◇ funny = amusing, comical

【4】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

我々の生活に影響を与える応用科学の力を、誰もがますます意識するようになってきている。残念なことに、2つの大戦がこの事実を知らしめることに大きな役割を果たし、ことによるとその結果により、科学の持つ恵み深い恩恵に感謝するよりも、その破壊的な力の方を

恐れるようになってしまっている者もいる。しかし大半の者は、我々が持つ自然に対する支配力をどのように利用するかということは、我々自身が決めることであるということ、そして我々各人が考える科学の破壊力と恩恵のバランスは、善が全世界にあまねく行き渡るのを望むのか、それとも悪が全世界にあまねく行き渡るのを望むのかということにまず第一にかかっていることを理解するだろう。最終的には私は、大多数の人間は、あらゆる点を考慮すれば、知識の利用から善が流れ出てくることを願っているはずだと信じる。

注

- ℓ. 1 ◇ applied science 「応用科学」 ⇔ theoretical science 「理論科学」
pure science 「純粋科学」
○ applied = used in a practical way (not theoretical)
○ the power of applied science と to affect our lives は同格関係。
※この to 不定詞を「ための」と訳出するのは初学者が犯しやすい誤訳。
◇ affect = produce an effect on; influence
- ℓ. 2 ◇ sad to say = unfortunately
◇ enlightenment < enlighten = give a knowledge to; cause (a person) to see the truth; get rid of ignorance, prejudice or misunderstanding
◇ in consequence = consequently; as a result of this
- ℓ. 3 ◇ destructive = causing destruction
◇ appreciate = value highly; be thankful for
- ℓ. 4 ◇ beneficent [bənɛfəsnt] = doing good; kind; generous
◇ what use we make of < make use of = use; take advantage of
- ℓ. 5 ◇ what *any one of us thinks* the balance will be depends
S V
- ℓ. 6 ◇ whether he { expects good (to prevail in the world generally)
or
(expects) evil to prevail in the world generally
◇ prevail = be widespread; exist
◇ generally = widely
◇ in the last resort = as a last means (of finding help or relief) 「最後の手段として」
※ここでは even in the last resort の意味で用いられている。
- ℓ. 7 ◇ on the whole = taking everything into consideration

[5]

解答

- (1) c (2) b (3) d (4) b (5) a

Script

CD 17 ~ 10

S : Ms. Smith, could I bother you for a moment?

T : Sure, what is it, Kentaro?

S : I want to talk to you about changing courses. I'm having a lot of trouble at home,
and I can't keep up with my schoolwork. You see, my mother died a few years
5 ago, so my father has been trying to take care of my brothers and me on his own.
My brothers are still in junior high school. I've been making the meals since Dad
doesn't get home from work till late. Now he's in the hospital and I'm the only one
to take care of my brothers.

T : I understand, Kentaro. It must be very rough on you. Your writing teacher, Mr.
10 Sullivan, told me something about your problems since I'm your advisor, but I didn't
know all the details.

S : I want to change to the intermediate course. I'm afraid with taking care of my
brothers I won't be able to keep up with the advanced course.

T : I understand how you feel, and I've discussed this with the counselor and the head
15 of the English Department. We don't think it's a good idea to change courses.
Your English is really good, and even though you may not have as much time to
study as you'd like, I think that you can keep up with the course. If you change to
the intermediate level, you'll only be studying things that you already know. And
besides, the class you are in now is a really good one. The other students are
20 really sociable and enthusiastic about speaking English.

S : But I'm sure I won't be able to come to class every day. I thought that if I took
the easier course I could handle cooking meals, doing a part-time job, and going to
school.

T : Don't worry. All of your teachers understand your situation. If you miss some
25 classes due to family problems, they'll help you to catch up. I know it won't be
easy, but you shouldn't give up your goal.

S : Thanks a lot, Ms. Smith. I'll think about it and talk it over with my father. I think

he'll agree with you.

T : Good. Let me know what you decide, OK?

30 S : Thank you. I'll tell you next Monday.

Questions

- (1) Why did Kentaro go to see Ms. Smith?
- (2) What did Kentaro say he was thinking of doing?
- (3) Basically, what is Kentaro's problem?
- (4) Who first told Ms. Smith about Kentaro's difficulties?
- (5) What advice did Ms. Smith give to Kentaro?

全訳

S : スミス先生、ちょっとよろしいですか。

T : ええ、どうしたの、ケンタロウ君？

S : コースを変更するべきかどうかについてお話したいのですが。家の方がかなり大変で、学校の勉強についていけないんです。ご存知の通り、母が数年前に亡くなって、父は兄弟や僕の世話を1人でやろうとしてきました。弟たちはまだ中学生で、父は夜遅くまで仕事から帰って来ないので、僕が食事を作っているんです。でも、父が今入院しているので、弟たちの世話をするのが僕1人なんです。

T : わかるわ。とても大変でしょうね。私があなたのアドバイザーということで、ライティング・クラスのサリバン先生からそのことは少し聞いていたけど、詳しいことは知らなかったの。

S : 中級コースに変更したいんです。弟たちの世話をしながらだと、上級コースにはついていけないと思うんです。

T : 気持ちはわかるわ。このことについては、カウンセラーと学部長と話し合ったけれど、みんなコースを変更するのはよくないと思ってるわ。あなたは英語がとても上手だし、勉強する時間は思うほど十分には取れないかもしれないけれど、今のコースでやっていけると思うわ。中級コースに変えたら、もう知っていることを勉強するだけになるのよ。それに、今あなたがいるクラスはとてもいいクラスで、他の生徒たちも打ち解けていて、英語を話すことにとても熱心でしょう。

S : でも、毎日授業に来ることはできなくなるのははっきりしています。易しい方のコースを取れば、食事を作って、アルバイトをして、学校に来ることも何とかこなせると思うんですが。

T : 心配しないで。先生たちは皆あなたの状況をわかっているわ。もし家庭の事情で授業に出られないことがあっても、追いつけるように助けてくれるわ。もちろん簡単なことではないと思うけど、目標をあきらめてはいけないと思うの。

S : どうもありがとうございます、スミス先生。もう少し考えて、父とも話してみます。きっと先生の言うことに賛成してくれると思います。

T : よかった。どうするか決まったら教えてね。

S : ありがとうございます。今度の月曜日にお話します。

注

- ℓ. 1 ◇ could I bother you for a moment? 「ちょっとお邪魔してもいいですか；少しお時間をいただけますか」
- ℓ. 3 ◇ I'm having a lot of trouble (with ~) 「(～で) 大変苦労している」
- ℓ. 4 ◇ keep up with ~ 「～に (遅れないで) ついていく」
- ℓ. 5 ◇ on *one's* own 「1人で；独力で」
- ℓ. 7 ◇ I'm the only one to ... 「…するのは自分1人である；自分しか…する人がいない」
- ℓ. 9 ◇ it must be very rough on you 「(あなたにとって) とても大変に違いない」
- ℓ. 12 ◇ intermediate 「中級の」
 - ◇ I'm afraid (with taking care of ~) I won't be able to ... 「(～の世話などで) …できないと思う」
- ℓ. 14 ◇ counselor 「カウンセラー (高校の授業選択などに関する相談員)」
 - ◇ the head of the (English) Department 「(英語) 学部長」
- ℓ. 15 ◇ we don't think it's a good idea to ... 「…するのはよくないと思う」
- ℓ. 18 ◇ you'll only be ...*ing* 「…することにしかない」
- ℓ. 20 ◇ sociable 「社交的な；打ち解けた」
 - ◇ enthusiastic (about ...*ing*) 「(～することに) 熱心な」
- ℓ. 22 ◇ handle (...*ing*) 「上手く…する；…することを (上手く) 扱う」
- ℓ. 24 ◇ miss ~ 「～ (授業など) を欠席する」
- ℓ. 25 ◇ due to ~ 「～のために」
- ℓ. 27 ◇ talk over ~ (with ...) 「～について (…と) 話し合う；相談する」
- ℓ. 29 ◇ Let me know what you decide, OK? 「どうすることに決めましたか教えてね」

解説

質問は試験用紙に書かれていないが、選択肢を見れば本文の内容についてある程度見当がつけられる。たとえば, *lesson, course, learn, school, major, teacher, student*といった語が全て出てきているので, 本文は学校という設定が関わっていると想定できる。

(1)の選択肢はいずれも, 学生の頭に浮かんだかもしれないことに関係しているから, それについての質問がくると予想すればよい。(2)の選択肢はいずれも, 決定を要する何かを行うことに関する事。(3)の選択肢はいずれも問題なので, 質問は学生が抱えている問題に関するもののはずである。(4)の選択肢はいずれも人物なので, 質問は*who*あるいは*from whom*で始まると予想すればよい。(5)の最初の3つの選択肢は*should*という語を含み, 最後の選択肢には*would be good for him* (彼にとっておそらくよいだろう) という表現が入っているので, 質問は助言に関するもののはずである。

(1) Why did Kentaro go to see Ms. Smith? (ケンタロウはなぜミス先生に会いに行ったのですか。)

c He was seeking her advice about how to deal with a difficult situation.

(困難な状況にどう対処すればよいかについてアドバイスを求めていた。)

ℓ. 4～8でケンタロウは母の死と父の病気による家庭の困難な状況を説明している。

ℓ. 9でミス先生は「それはあなたにとって厳しいに違いないでしょうね」と言って

いる。*rough on*は「(~にとって生活が) 厳しい; 不便な」という意味で *tough on, difficult for*と同意。

- (2) What did Kentaro say he was thinking of doing? (ケンタロウは何をしようとするつもりだと言いましたか。)

b Switching to an easier course (易しいコースへの変更)

ℓ. 12～13でケンタロウは上級コースから中級コースに変えたいという意志を述べている。

- (3) Basically, what is Kentaro's problem? (ケンタロウの基本的な問題は何ですか。)

d He has heavy family responsibilities. (家庭での責任が重い。)

この質問はこの会話全体の目的に関するものである。この質問に答える内容は会話の最初から最後までにちりばめられているが、ℓ. 4～8, ℓ. 21～22が特に重要である。

- (4) Who first told Ms. Smith about Kentaro's difficulties? (ケンタロウの問題をスミス先生に最初に伝えたのは誰ですか。)

b His writing teacher (彼のライティングの先生)

答えは、ℓ. 9～11にみつけられる。

- (5) What advice did Ms. Smith give to Kentaro? (スミス先生はケンタロウに何とアドバイスしましたか。)

a An easier class would not be useful to him, so he should stay in the same class.

(易しいクラスは彼にとって役に立たないだろうから、同じクラスにとどまったほうがよい。)

答えはℓ. 14～20, 特にℓ. 17～19を参照。

【6】

解答

- ① a ② a ③ b ④ c ⑤ c

解説

- ① 第2段落第2文
② 第2段落第3文, 第3段落第1文
③ 第3段落第2文
④ 第4段落第3～5文に共通する内容は?
⑤ 最終段落第2文

全訳

外国人がいわゆる「日本人の微笑み」について話す時、彼らが言おうとしているのは、日本人は、自分の本当の気持ちを表に出さずに微笑み続けるということです。森本雄二は、タイにも「タイ人の微笑み」と呼ばれている同じようなものが存在することを知って驚きました。

雄二はデパートに行きたかったので、タクシーに乗りました。そのタクシーにはメーターがなかったので、タクシー料金をまず交渉しなくてはならないとすぐに気づきました。バンコクの中心街にある、あるデパートに行きたいことを運転手に告げ、30バーツでどうかと

申し出ました。1パーツは10円に当たります。

運転手はずっと微笑み続けていたので、雄二は「じゃお願いします。」と言いました。デパートに着いた時、運転手が「50パーツです。」と言いました。雄二はとても驚いて、「いや、私たちは30パーツで合意しましたよね。30パーツ以上は1パーツたりとも多くは払おうとは思っていませんよ。」と言いました。運転手は50パーツを主張して、その声は次第に大きくなっていきました。

まもなく、タクシーの周りに人だかりができて始めました。集まった人たちが意見を言い始めました。「タクシーに乗る余裕がある人は、金持ちなのだから、なんで料金のことなんかで口論しているんだ。」「なぜ金持ちが20パーツくらいで口論しているんだ。」「日本人はとても裕福なのに、ほんの20パーツでタクシーの運転手と口論しているなんて！」

雄二は驚いて20パーツを支払いました。彼は素敵な満面の笑みが合意を意味しないということを知ったのです。

注

ℓ. 1 ◇ “the Japanese smile” 「いわゆる日本人の微笑み」(歯を見せず目だけで笑う日本人特有の笑い方、外国人に「ごまかし笑い」の印象を与えるらしい)

◇ mean = be a sign of; indicate

ℓ. 2 ◇ keep …ing 「…(ある動作)をし続ける」

○ 一見簡単そうだが、正確に用いるのは極めて難しい。例えば、「電車が込んでいたのでずっと立っていなくてはならなかった。」を

(×) The train was so crowded that I *kept standing* all the way. としてしまうと、keep …ing の…ing 形部分の動詞は通常、動作動詞なので「立ち上がってはまた座る」という行為をくり返したことになるので、

(○) The train was so crowded that I *had to stand* all the way. (この stand は状態動詞として用いられている) としなくてはならない。

ℓ. 2 ◇ learn = gain as knowledge; become familiar with by studying, by being taught, by practice, etc.; become aware of; be informed of

○ learn が「動作動詞」であるのに対して、know (= be aware of) は通常「状態動詞」

ℓ. 3 ◇ “the Thai smile” 「いわゆるタイ人の微笑み」(タイ人は白い歯を見せて笑う)

○ Thai = *adj. of Thailand, its people, culture, etc.*

n. ①の a native or inhabitant of Thailand

②の the language of Thailand

◇ Thailand [táilənd]

ℓ. 4 ◇ department store 「デパート」 **作文で頻出**

◇ get into a taxicab 「タクシーに乗る」

○ タクシーのようにかがんで乗る乗り物に乗る場合には、get in [into] ~, 降りる場合には get out of ~ を用いる。バスのように、かがみこまず乗る乗り物に乗る場合には get on ~, 降りる場合には get off ~ を用いる。これらの場合の in, into, out of, on, off は前置詞として機能しているので代名詞がきても、

get	in	it
	into	
	out of	
	on	
	off	

となる点に注意。

- taxicab = an automobile in which passengers are carried for a fare
- ℓ. 5 ◇ meter [mɪtər] = a device for measuring the amount of something used 発音頻出
- ◇ realize = understand clearly
- ◇ immediately [imɪˈdiːətli] = at once
- ◇ first = first of all
- ◇ negotiate = talk together in order to bring about an agreement
cf. We are all hoping that Syria will eventually *negotiate* with Israel.
 (我々はみな、ゆくゆくはシリアがイスラエルとの交渉に臨んでくれることを願っている。)
- ◇ fare = the price of a ride
- ℓ. 6 ◇ certain = not named or described, although it is possible to do so
- ◇ downtown = to, toward or in the business center of a town
cf. It is hard to find a parking lot in *downtown* Tokyo.
 (東京の都心で駐車場を見つけるのは大変だ。)
- ℓ. 7 ◇ offer = bid or propose as a price 盲点
cf. *offer* 3,000 dollars for a picture
 (絵に3千ドルを提供する) → (絵を3千ドルで買うと言う)
- ◇ baht 「バーツ」 (タイの通貨単位)
- ℓ. 9 ◇ shock = cause to feel astonishment, horror, etc.
- ◇ agree on = reach or make an agreement concerning (price; date; position; cease-fire; terms) which is mutually acceptable
- ℓ. 10 ◇ any : 副詞相当語句 「いかなる分であれ」
- ◇ insist on = do, require or maintain (something) in spite of objections from others
- ℓ. 12 ◇ crowd = a large number of people in a group
- ℓ. 13 ◇ comment = words, spoken or written, that explain or express an opinion
- ◇ afford = have the money for
- ◇ should: expressing emotions, such as surprise or indignation (憤り) , used after how, why and (occasionally) other interrogative words
cf. What *should* I find in my soup but a silver coin.
 (私のスープの中に入っていたのは何と銀貨であった。)
- ◇ argue about = argue over; discuss (something) vigorously and with differing views, dispute
- ℓ. 15 ◇ and yet = and in spite of that

- ◇ argue (with a taxi driver) over only 20 bahts
- ℓ. 17 ◇ agreement = an arrangement or understanding (spoken or written) made by two or more persons, groups of persons, business companies, governments, etc.